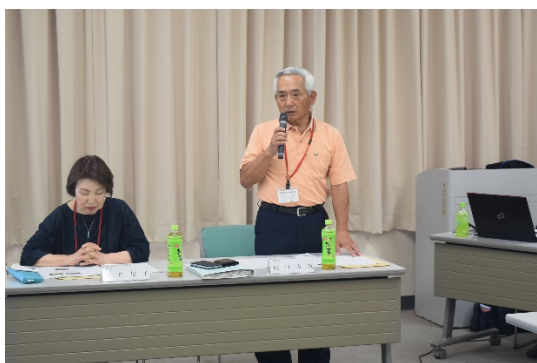


## 丹後地区行政相談推進協議会自主研修会

- 日 時 令和元年7月23日（火）午後1時30分～4時
- 場 所 与謝野町生涯学習センター『知遊館』
- 参加者 丹後地区2市2町行政相談委員11名中9名出席  
京都行政監視行政相談センター廣田所長、相談課長、業務係長

- 研修会は堀口協議会会長の主催者挨拶に続き、廣田センター所長様、地元与謝野町住民環境課の中上主幹様からご挨拶をいただき、研修に入りました。



堀口丹後地区行政相談委員協議会会長



廣田京都行政監視行政相談センター所長



中上与謝野町住民間協会主幹

- 始めに、行政相談でも事例がある消費者トラブルについて、京都府丹後広域振興局商工労働観光室の岡村さおり消費生活相談員から「消費生活相談の現状」と題して、講演をいただきました。



京都府丹後広域振興局商工労働観光室  
岡村さおり氏



研修の様子

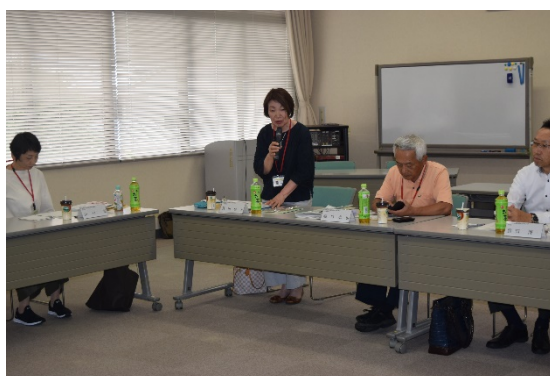
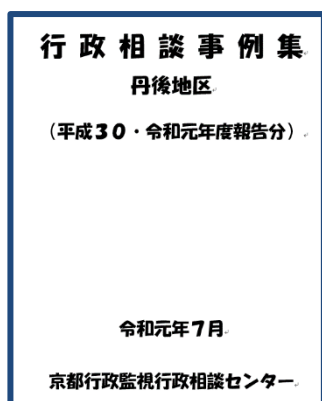
そのなかでは、特殊詐欺の事例では52%が受け渡し型であることや、京丹後市の事例件数が他の1市2町の合計を上回っていること等が紹介され、繰り返し啓発することが大事であると強調されました。

また、来年4月から未成年者の定義が20歳未満から18歳未満に変わることで、若い人が消費者トラブルに巻き込まれる可能性の増加が懸念されると訴えられました。

講演の最後に、配布された「だまされやすさ心理チェック」により皆で、自分自身をチェックし他人ごとではないことを自覚しました。

- 続いて、センターがまとめてくれた平成30年度・令和元年度の丹後地域の相談対応事例集を基に意見交換をし、研修を深めることができました。

丹後地域の委員11名中6名が異動したため、今回の自主的な研修会は新任の方にも有意義な研修となったのではないかと思います。



長田丹後地区行政相談委員協議会副会長

(丹後地区HP委員 堀口 卓也)